



俯瞰的 — 学者に対して上から目線

日本学術会議の会員が次期の会員を選び、首相は形式的にそれを任命すると一九八五年に中曽根首相が述べていた。しかし、菅首相は、六名の任命を拒否。「総合的・俯瞰的な観点から」と理由は云わない。俯瞰とは「高い所から見渡す」。菅氏は上から目線で拒否。

が問題とした事。会員には優れた研究・業績のある科学者を選ぶ。六人が学会の異端であれば次期の学術会議会員に選ばれる筈がない。

菅首相は六人と議論して説得するのではない。学者に「俺に従え」と人事権で脅す。香港を見よう。これまで自由に意見を云うことが出来たのに「国家保安法」を制定。これに反対した者が逮捕されたり、行方不明になっている。

習近平は新型コロナに警鐘を鳴らした医者を弾圧した。菅首相は異議を差し挟む者を排斥し、日本を中国のようにしようと云うのか。

六人の学者は安倍・菅政権下で決められた秘密保護法、共謀罪法、安保法に反対していた。その理由は、

○秘密保護法は何でも「秘密」にして国民の目から隠す。

○共謀罪法は、何もしなくても「共謀した」と看做し犯罪とする。

○安保法では歴代内閣が憲法違反と云う集団的自衛権行使を認める。これらは殆どの学者が問題とした事。あなたはどう思われますか？

米海軍横須賀基地

神奈川県横須賀市本町2丁目
二〇二〇年十月



京急汐入駅そばから、東に向かうと「どぶ板通り」。米軍人向けのお店が並ぶ。不動産屋の物件表示も英語。

その中程近くに、米海軍横須賀基地の正門がある。敗戦までここに日本海軍の横須賀鎮守府があった。面積約2.5km²。

入口の左に75の数字が見える。これは一九四五年に米軍がここを占領して七五年を祝うもの。

この門から米軍基地。犯罪者が逃げ込んで日本警察は追いかけることが出来ない。この先は事実上米軍の植民地。

軍事施設、艦船修理施設だけでなく、緑豊かな住宅街、学校、スーパー、ボーリング場等々がある。ユーチューブで基地内一般公開の様子を垣間見る事が出来る。

